

(共同リリース)

2024年8月29日
日本航空株式会社 北海道支社
株式会社北海道エアシステム

北海道産木材を活用した HAC ATR42-600 型機の木製モデルプレーンの販売を開始

～北海道の森林資源の循環利用推進を目指します～

日本航空株式会社(以下、JAL)と株式会社北海道エアシステム(以下、HAC)は、HAC が運航するATR42-600 型機のオリジナル木製モデルプレーンを2024年8月31日(土)から販売します。このオリジナル木製モデルプレーンは、北海道の道南地域の森町で木育を媒体とする事業を展開するクリエイター(山本賢治氏)のデザインで、北海道産木材を用いて加工した HOKKAIDO WOOD(*)の製品です。



オリジナル木製モデルプレーン



デザイナー山本 賢治氏

北海道は、日本の森林面積のおよそ1/4にあたる554万ヘクタールの森林を有しています。生き物の命をつなぐ、水源を豊かにする、土砂災害を抑える。森には、木を育むだけではない大きな役割があります。JALとHACは、HOKKAIDO WOODの製品がこれまで伝えてきた、「北海道で、森が果たす役割を知り、数十年、数百年先の北海道の森のランドデザインを描くこと」の意味に共感し、地元産木材の利用を促進し、「植えて育てて、伐って使って、また植える」という北海道の森林資源の循環利用を推進します。北海道の自然を守っていききたい想いを込めて、子どもたちを中心に幅広い世代の方々に、木を身近に触れて使ってもらい、自然や環境との繋がりを感じてもらいたいと考え商品を企画・製作しました。



出典: 林野庁

JAL 北海道支社と HAC はこれからも北海道が目指す「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、北海道の森林保全と地域活性化を推進してまいります。

【商品概要】

商品名 : 木製モデルプレーンATR42-600

サイズ(約) : 全長25.0×幅24.0×高さ6.0cm(台座含まず)

商品内容 : HACのATR42-600型機 北海道産木材を用いて加工した組み立て式モデルプレーン
台座には、HAC就航地の観光名所やランドマークをデザインしています。
(初回は札幌と函館の2種類展開)



販売価格 : 4,000円(税込)

販売開始 : 2024年8月31日(土)※売り切れ次第終了となります。

販売場所 : 札幌丘珠空港ビル2階「スカイショップおかだま」(※9月上旬から販売開始)

HAC就航地イベントでのHAC物販ブース

【出展予定イベント】

- 2024年8月31日(土)函館エアポートフェスタ'24 (場所:函館空港)
- 2024年9月1日(日)札幌丘珠空港格納庫フェスティバル (場所:札幌丘珠空港)
- 2024年9月8日(日)そらフェスin釧路空港2024 (場所:釧路空港)
- 2024年9月21日(土)女満別空港スカイフェスティバル (場所:女満別空港)
- 2024年9月21日(土)2024秋田空港「空の日」まつり (場所:秋田空港)



(*)～道産木材製品(HOKKAIDO WOOD)～

「HOKKAIDO WOOD」は道産木材製品のブランド名称です。北海道の森林で産出された木材を用いて、道内で加工された製品を、道産木材製品といいます。

このマークは、北海道の「北」という漢字を、木の「幹」と「枝」に見立てたマークです。漢字は国内・海外ともにマークとしてよく使用され、親しまれているモチーフです。木を中央で縦に割ることで、木を製材していることも表現したマークとなっています。

JAL 北海道支社とHACは、HOKKAIDO WOODのメンバー登録企業です。

以上